

Q 大瀬戸議員 熊野町の現状と、今後の行方を問う。

A 住民と行政が一体となったまちづくりを目指す。
(平本町長・渡辺助役)

Q1 国や県から直接公式に、合併に関する指示や斡旋などがあったのか。

A1 現在のところ、指示や斡旋があったことはない。
(平本町長答弁)

Q2 熊野町では、近隣市町と合併に関する研究会を持つというところ。その研究会の検討内容等の公表を求む。

A2 研究会には「広島市・熊野町合併問題等調査研究会」など5つの会がある。各研究会での協議内容は議会では報告済みである。これは公民館等に設置してある情報コーナーで閲覧が可能である。
(渡辺助役答弁)

Q3 「第4次熊野町総合基本計画」は合併を想定したものか。

A3 当該計画は、町民が安心して暮らせるまちを創るための計画である。したがって、合併を前提としているのではなく、「計画を実行するために合併が必要かどうかを考える」ということになる。
(平本町長答弁)



Q4 町長答弁で「いずれ合併せざるを得ない時期がくるだろう」とあった。それは、どのような時期と状況の場合か。

A4 これまでの答弁の意図は、「『道州制』を含めた大きな流れの中で、自治体が再編成されていく可能性があることから、合併せざるを得ない時期がくることは十分に考えられる」という意味で時期を限定したものではない。
(平本町長答弁)

Q5 町長は「熊野の真の自立」とはどのように考えているか。そして自立のための、あらゆる構造的な弊害と諸問題の解決を、どのように進めるのか。

A5 住民と行政が対等の立場で共にまちづくりを考え・進めるのが真の自立と考えている。このためには、住民が積極的に様々な意思決定に参加できるよう、行政側の情報の開示と提供を進める。
(平本町長答弁)

